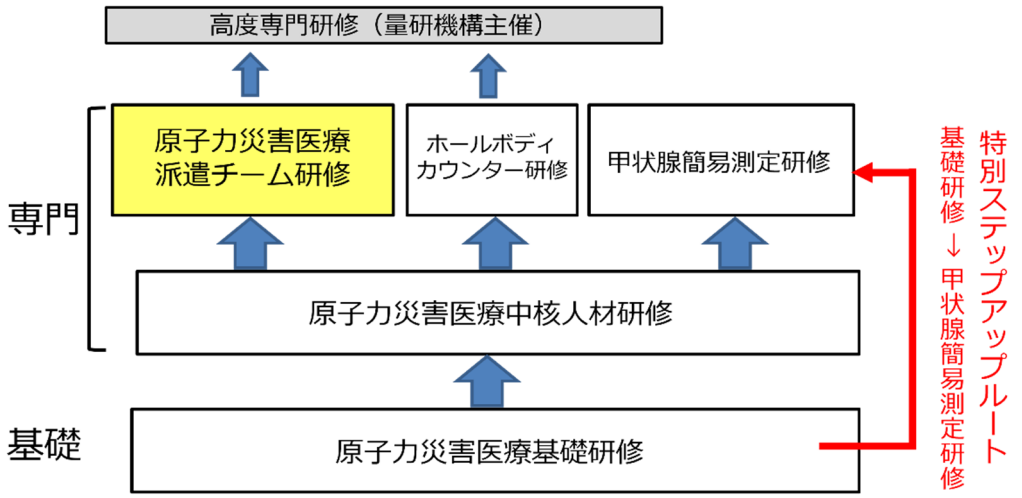
国立大学法人 弘前大学

令和４年度　原子力災害対策事業費補助金（原子力災害等医療実効性確保事業）

令和４年度原子力災害医療派遣チーム研修（青森県）　募集要項

本研修は，令和４年度 原子力災害対策事業費補助金（原子力災害等医療実効性確保事業）（以下，補助金事業という。）の一環として国立大学法人弘前大学が実施するものです。

原子力災害医療に関する各種研修は，基礎→専門→高度専門へとステップアップする研修体系のもと開催いたします。そのため，原子力災害医療派遣チーム研修を受講するためには原子力災害医療中核人材研修もしくは令和３年４月以降の原子力災害医療派遣チーム研修を修了していることが必要となります。（下図参照・各研修の開催情報は後述の被ばく医療研修ポータルサイトをご参照ください。）



原子力災害医療研修体系図

なお，本研修は新型コロナウイルス感染症対策専門家会議において提言された「新しい生活様式」を踏まえ，感染拡大防止対策及び衛生環境整備に努めてまいります。受講生におかれましても，感染拡大の予防に御協力いただきますようお願い申し上げます。また，新型コロナウイルス感染症拡大防止対応のため，研修の中止または中断があることも御理解のほどお願いいたします。（別紙「新型コロナウイルス感染症拡大防止対応」）

1　目的

原子力災害医療派遣チームの活動に必要な知識と技能の習得

2　対象医療機関

青森県立中央病院，八戸市立市民病院，弘前大学医学部附属病院

3　対象者

対象医療機関に所属し，医療派遣チーム構成員として登録しているか，今後登録を予定している医師，看護師，診療放射線技師，ロジスティクス業務担当者のうち，原子力災害医療中核人材研修もしくは令和３年４月以降の原子力災害医療派遣チーム研修を修了していること。

＊ロジスティクス業務担当者は，看護師，診療放射線技師以外のコメディカル及び事務職員が該当します。

＊令和２年度以前に派遣チーム研修のみ受講済みの方は再受講できません。

4　募集人員

２０名程度

5　研修期間

令和４年１１月１９日（土）　１０：００～１６：３０

6　開催場所

青森県立中央病院　救命救急センター 訓練スペース１

（〒030-8553　青森県青森市東造道 2-1-1）

7　研修内容

時間表（案）のとおり

8　受講料

無料

＊本研修は原子力災害時の医療体制整備に資するため，原子力規制庁からの補助金事業の一環として実施され，原子力災害時の医療拠点となる医療機関の専門家育成研修として位置づけられています。

9　交通費について

勤務先及び居住地が研修開催市外より参加される方は，本学の旅費規定に従い，交通費を支給致します。支給詳細については決定後お知らせ致します。

１０　申込要領

申込期間：令和４年 10 月 14 日（金）～11 月４日（金）

申込方法：被ばく医療研修ポータルサイトよりお申込みください。

（「入力操作の手引き」参照）

ポータルサイト　https://retms.nirs.qst.go.jp/

＊過去に受講・修了した研修は，新規アカウント登録（個人情報入力）の際に忘れずにご記入ください。【参考資料　入力操作の手引き（簡易版）２ページを参照】

（記載例：令和○年度第○回○○研修（○○大学開催）実施日○年○月○日）

１１　受講決定通知

（１）　研修開始日の１週間前までに所属長及び本人宛に結果を文書で通知します。

（２）　応募者多数の場合には受講人数を調整させていただくことがあります。（受講決定は，先着順ではありません）なお，通知文が届かない場合は問い合わせ先までご連絡下さい。

（３）　受講決定後でも社会通念上相当とする理由がある場合は受講決定を取り消す場合があります。

（４）　受講決定後の参加申込みの取り消しは，原則として認めませんが，やむを得ない事情による場合には「辞退届（様式任意）」の提出が必須となります。

１２　問い合わせ先

〒036-8564　青森県弘前市本町６６－１
弘前大学 放射線安全総合支援センター　事務局
Tel ：0172 (39) 5474（ダイヤルイン）
Fax：0172 (39) 5451
E-mail：crss-jimu@hirosaki-u.ac.jp

個人情報の取り扱いについて

お申込に際してご記入いただきました氏名，住所，口座番号等の個人情報は，本学の個人情報保護規程に基づき厳重に取り扱い，原子力災害対策指針に基づく原子力災害時における医療体制等の整備に向け，本研修の受講記録として管理・保管すること及び，下記の利用目的以外では一切使用いたしません。

① 原子力施設立地・隣接道府県，原子力規制庁及び他の高度被ばく医療支援センター及び原子力災害医療・総合支援センターからの受講記録照会のため
② 受講者への連絡のため
③ 講師への情報提供のため
④ 研修修了後のフォローアップのため
⑤ その他研修業務の遂行のため

＊被ばく医療研修ポータルサイトのサイトポリシーもご参照ください。

令和４年度原子力災害医療派遣チーム研修（青森県）

時間表(案)

開催日：令和４年 11 月 19 日（土）

場所：青森県立中央病院　救命救急センター 訓練スペース１

時　間		講義タイトル
10：00　-　10：10	0：10	開講式
10：10　-　10：40	0：30	講義１　原子力災害医療派遣チーム
10：40　-　11：10	0：30	講義２　原子力災害医療派遣チームの活動
11：10　-　11：40	0：30	講義３　原子力災害時のリスクコミュニケーション
11：40　-　12：40	1：00	昼　　食
12：40　-　14：40	2：00	机上演習
14：40　-　14：50	0：10	休　　憩
14：50　-　16：20	1：30	実習
16：20　-　16：30	0：10	閉講式

注）　時間表は随時見直されていますので，若干の変更があることをお含みおき下さい。

実習は予定時間より延びることがありますので，あらかじめご承知置き下さい。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対応
（令和４年度改訂版 Ver.2）

1 感染者，または感染疑い者が出たときの対応

1.1 研修の中止・中断基準

＜研修開始前＞

- 開催地域での感染再拡大
  感染状況の悪化による再度の緊急事態宣言発令等，政府・自治体による活動自粛の要請がなされる事態に至る場合。ただし，「2 感染拡大防止の対応」を徹底することにより研修を実施することがある。
- 開催機関の研修スタッフの感染，感染疑いおよび開催機関内の感染拡大時。

＜研修開催中＞

- 研修に参加している受講者・講師・スタッフ等 参加者が，体調不良等[1)]を自覚し感染が疑われるもしくは確定した場合。ただし，「2 感染拡大防止の対応」を徹底することにより研修を実施することがある。

1.2 受講者及び講師・スタッフ，オブザーバーに参加辞退・中断していただく条件

以下の場合，本学研修担当者に報告することを義務づける。

＜研修開始前＞

- 研修参加 10 日前から前日までに，本人が体調不良[1)]を自覚した場合。
- 研修参加 7 日前から前日までに，本人が濃厚接触者となった場合。
- 研修参加 7 日前から前日までに，家族等の同居人が体調不良[1)]を自覚あるいは感染確認もしくは濃厚接触者とされた場合。
- 地域の感染状況の変化のため，所属機関が参加不許可とした場合。

＜研修開催中＞

- 家族等の同居人が体調不良[1)]を自覚あるいは感染確認もしくは濃厚接触者と判明した場合。（本人の受講・参加を中止するが，家族等の同居人の感染が確認されない限り研修は中止しない）

1.3 受講後に受講者・講師・スタッフ等 参加者が感染疑いとされた・感染確認された場合

参加者が，研修終了日から 3 日以内に新型コロナウイルス感染症と診断された，もしくは感染を疑い PCR 検査を実施した場合は，本学研修担当者に報告することを義務づける。その際に，本学は受講者・講師・スタッフ等 参加者に濃厚接触の可能性がある旨を連絡する。

1.4 その他（学外受講者が不利益を被らないための対応）＊自施設研修対象外

- 感染症対策に伴う研修の中止，中断，参加辞退が発生した場合の交通費，宿泊費のキャンセ

[1)] 以下の項目に一つでも当てはまる場合。（研修開催中は本学で毎朝確認する。）
37.5℃以上（あるいは本人の平熱より明らかに高い場合），強い倦怠感，味覚・嗅覚異常，咳嗽，息切れ，咽頭痛，筋肉痛，悪寒

ル手数料については，開催機関が支給する。感染対策に伴う研修の中断，参加辞退のため修了証が発行されない場合は「受講した講義等の受講証」や「体調不良（自覚）による，研修の安全確保のための受講中断であること」を示す文書を発行する。

- 感染対策に伴う研修の中止，中断，参加辞退の場合には，本学で開催する次回研修の受講を優先的に取り扱う。

2 感染拡大防止の対応

2.1 手指衛生

- 入室時毎の手指アルコール消毒を徹底する。
- 洗面所使用時にはハンドソープでの手洗いを励行する。
- 実習及び机上演習前後は必ず手指アルコール消毒をする。

2.2 換気

機械換気設備を常時稼働させるとともに，研修前後及び休憩中などに定期的に会場の換気を行う。

2.3 ユニバーサルマスキング（常時マスク着用）による飛沫拡散防止とアイシールド等による眼保護

受講者・講師・スタッフ等 参加者全員の常時マスクおよびアイシールド等の着用を義務付ける。

2.4 Social (physical) distancing

- 講義室では受講者間の間隔を 1m以上確保する。
- 換気量より許容される人員数に対応可能である部屋を実習会場とする。
- 実習は濃厚接触を避けるため，講師，受講者間で十分な間隔（1m以上）を取りながら行う。

2.5 受講者・職員の疑い例の早期発見（研修が数日間に渡り行われる場合は毎朝実施）

朝の入室時に受講者・講師・スタッフ等 参加者全員の体調を確認・記録する。

① 非接触式体温計による検温

② 症状チェックリスト：発熱（37.5℃以上あるいは本人の平熱より明らかに高い場合），強い倦怠感，味覚・嗅覚異常，咳嗽，息切れ，咽頭痛，筋肉痛，悪寒

※ 症状等の記録は保管し，おおむね１年経過後に破棄する。また，必要に応じて記録を保健所等に提供する。

2.6 使用物品表面のアルコール消毒

- 講義室の机は研修の開始前および終了後にアルコール消毒をする。
- 講義室のドアノブ周囲は講義時間毎にアルコール消毒をする。
  トイレ便座の清拭消毒剤を設置し，使用を励行する。
- 受講者・講師 等 参加者が他の机を触れずに次席まで行けるように通路を確保し，自分の机，いす以外には触れないことを徹底する。

2.7　新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）の利用

厚生労働省が推奨する「新型コロナウイルス接触確認アプリ COCOA（COVID-19 Contact-Confirming Application)」への登録にご協力をお願いいたします。

COCOA　https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html

○iPhone

○Android

○厚労省ｳｪﾌﾞｻｲﾄ

2.8　その他

研修参加について上記項目以外でお悩みの場合は，いつでも下記の連絡先までご相談ください。

【連絡先】
〒036-8564　青森県弘前市本町 66-1
弘前大学放射線安全総合支援センター
TEL：0172（39）5474（ダイヤルイン）　FAX:0172(39)5451
E-mail：crss-jimu@hirosaki-u.ac.jp

被ばく医療研修管理システム
入力操作の手引き（簡易版）

（受講者向け）

第０.4版

§ システム操作に関するご不明な点がございましたら、システム操作サポート窓口へお問い合わせください。

§ 研修申し込み、キャンセルなど研修内容に関することについては、各研修の募集要項に記載されている研修開催機関（お問い合わせ窓口）までお問い合わせください。

§ 退職、人事異動等の理由により、この被ばく医療研修ポータルサイト（RETMS）を利用する必要がなくなった場合には、その旨をシステム操作サポート窓口までご連絡ください。
ご連絡等を受けまして、システム操作サポート窓口において当該アカウントIDの利用停止処理をいたします。

0.目次

1.ログインする

2.各種情報を閲覧する

3.研修に申し込みをする

4.研修申し込み履歴を閲覧する

5.修了証書（写し）をダウンロード、印刷する

【システム操作サポート窓口】

国立研究開発法人　量子科学技術研究開発機構
量子生命・医学部門 放射線医学研究所
被ばく医療部　被ばく医療研修課（システム担当）
TEL：043-379-7808
e-mail：retms-support#qst.go.jp
（※）上記「#」記号を「@」記号に置き換えてください。

入力操作の手引き（簡易版） *操作マニュアル（受講者編）☞ P32～P34*	研修受講者	
	版数	0.4

1.ログインする

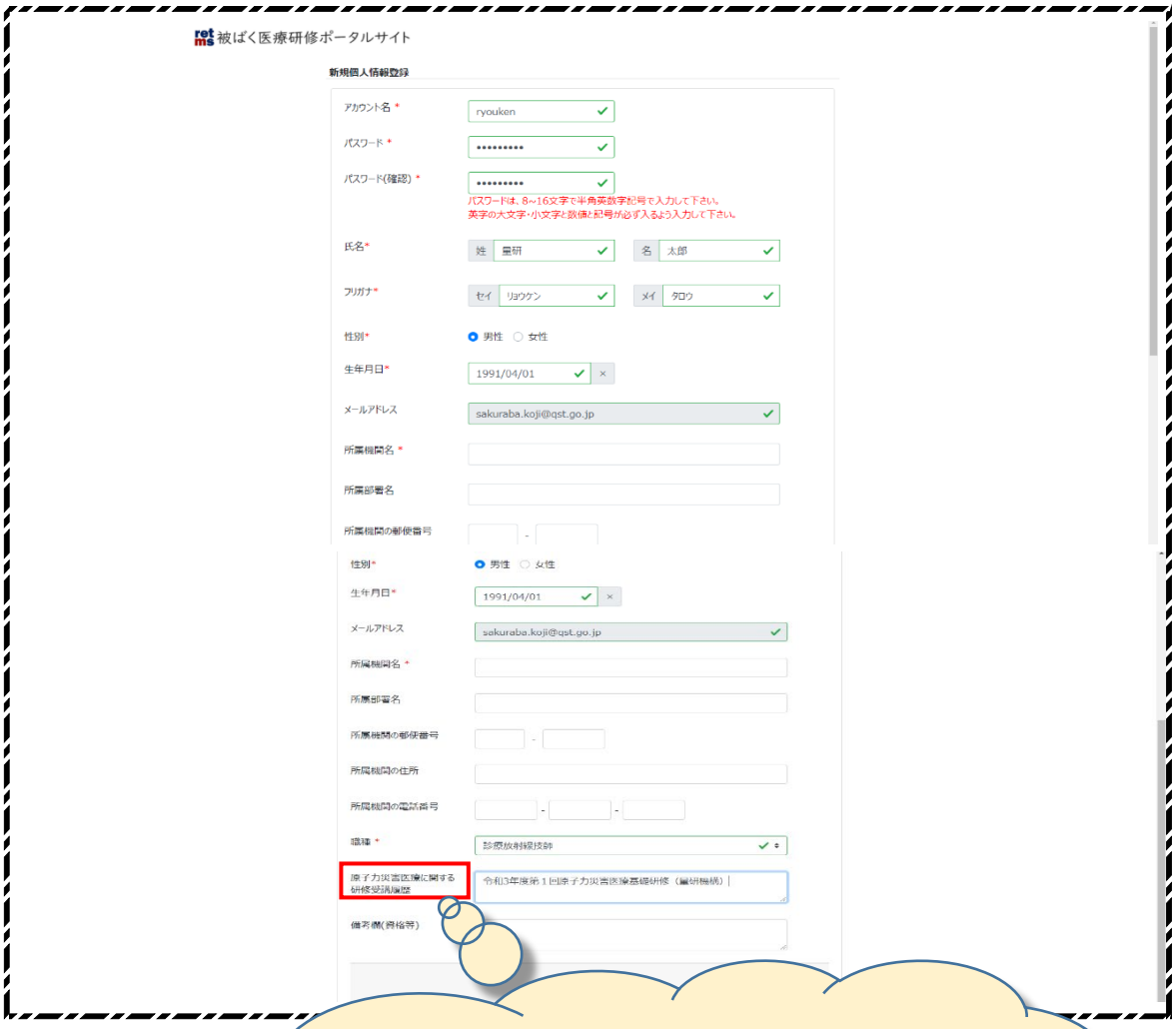
研修受講者用の下記URLからアクセスし、ログインボタンを押下します。

https://retms.nirs.qst.go.jp/

新規個人情報登録で登録したアカウント名とパスワードを入力し、ログインします。

1.ログインする（つづき）

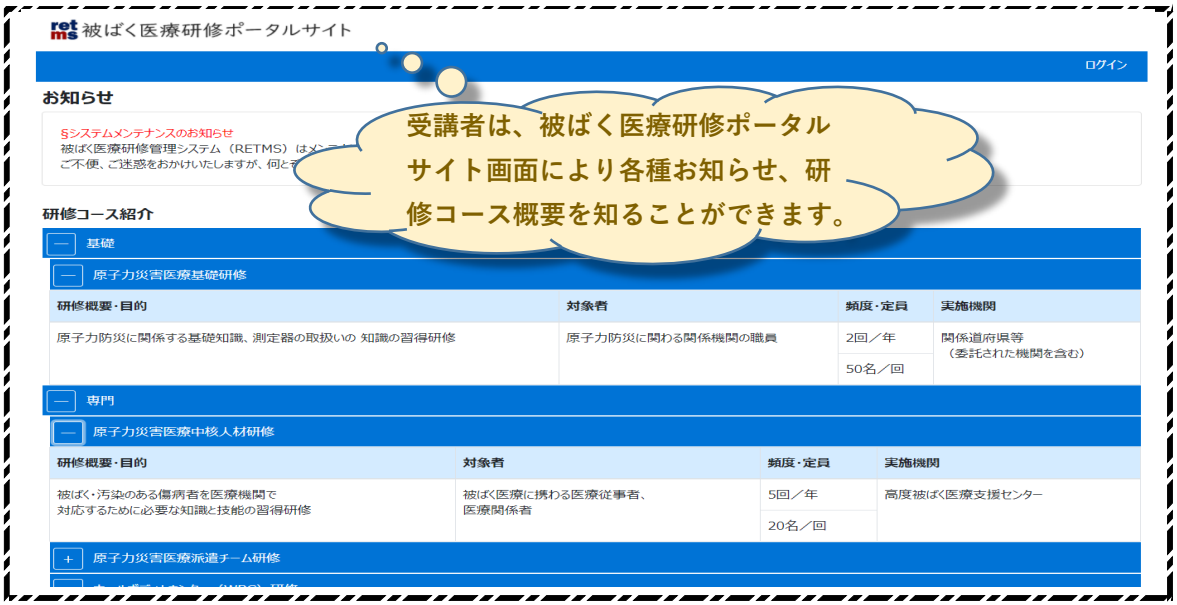
新規登録にあたっては、『原子力災害医療に関する研修受講履歴』欄への入力を忘れないように留意してください。（例：令和〇年度第〇回〇〇研修（〇〇大学開催）実施日〇年〇月〇日）



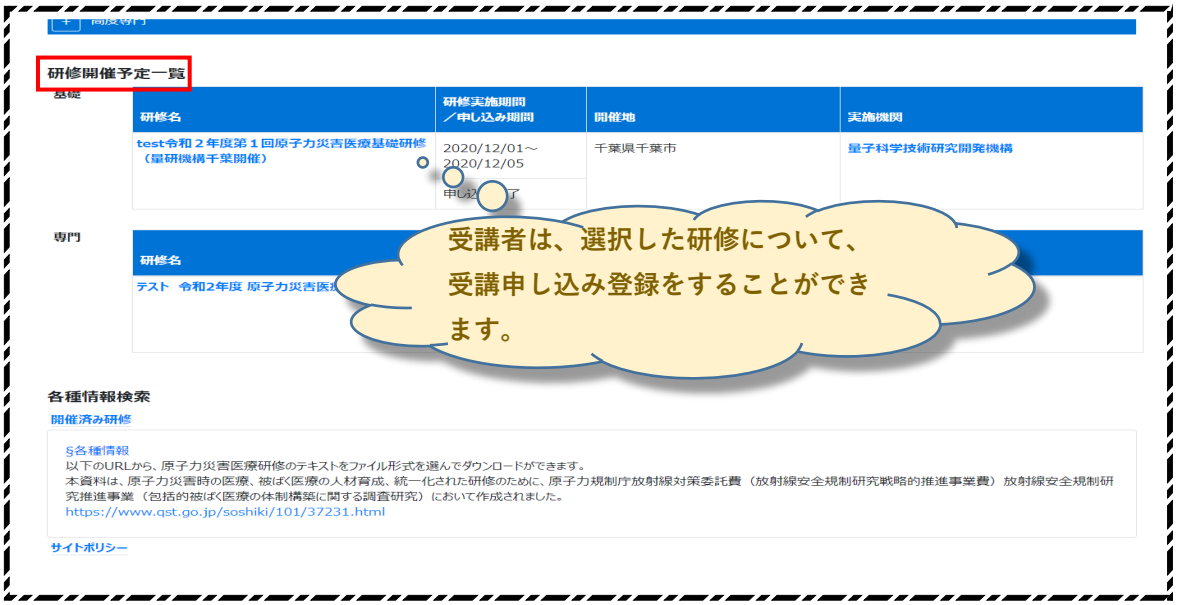
新規登録にあたっては、「原子力災害医療に関する研修受講履歴」への入力を忘れないようにしてください。
（例）令和〇年度第〇回原子力災害医療〇〇研修（〇〇大学開催）実施日〇年〇月〇日

2.各種情報を閲覧する

被ばく医療研修ポータルサイトで各種情報を閲覧することができます。



研修開催予定一覧では、各種研修の開催予定を知ることができます。



3.研修に申し込みをする

研修開催予定一覧で申込みする研修を選択すると、研修別詳細へ遷移します。
研修内容を確認し、申し込みボタンを押下します。

申込内容を入力し、内容確認のうえ確認ボタンを押下します。
確認ボタン押下後、忘れずに保存ボタンを押下します。

3.研修に申し込みをする（つづき）

研修申込みが問題なく行われると、登録されたメールアドレスあてに受付通知メールが送信されます。
（※）メールが届いていない場合は、迷惑メール設定等を確認してください。

差出人：　retms_dev@qst.go.jp
宛先：
件名：　(RETMS)test令和２年度第１回原子力災害医療基礎研修（量研機構千葉開催）研修　受講申し込み受付通知
日付：　2021年4月28日 11:58:26

様

受講申し込みを受付しました。
研修名：test令和２年度第１回原子力災害医療基礎研修（量研機構千葉開催）研修
受付日：2021/04/28 11:58
受講者名：

研修に関するお問い合わせ先
研修実施機関名：量子科学技術研究開発機構
研修担当者所属部署名：被ばく医療研修課
研修担当者氏名：
TEL：043-379-7808
E-mail：

このメールは、利用者の各種手続き時に確認のため、登録メールアドレス宛てに自動で配信しています。
このメールに心当たりの無い方は、お手数ですが下記までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

千葉県千葉市稲毛区穴川4丁目9番1号
（基幹高度被ばく医療支援センター）
国立研究開発法人　量子科学技術研究開発機構
量子医学・医療部門
高度被ばく医療センター
被ばく医療部　被ばく医療研修課
Tel：043-379-7808
Fax：043-206-4095
E-Mail：retms-support@qst.go.jp

4.研修申し込み履歴を閲覧する

研修申し込み履歴は、マイページより確認することができます。

5.修了証書（写し）をダウンロード、印刷する

修了証書（写し）は、マイページよりダウンロード、印刷することができます。
なお、研修修了後に認定委員会による認定手続が必要なため、研修修了後一週間程度を要します。